

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-506196(P2013-506196A)

【公表日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2012-530937(P2012-530937)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 21/31 (2013.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 1 2 0 A

G 0 6 F 17/30 1 1 0 C

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 21/20 1 3 1 A

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月13日(2013.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピューター実装方法であって、

計算システムのメモリーにおいて、訓練画像のための顔データーを発見するステップであって、前記顔データーが、顔に関連したユーザー作成のタグを含み、前記タグが、前記顔と関連した人を特定する識別 ( I D ) を示す、ステップと、

別の計算システムのメモリー内のある位置において前記顔データーを複製するステップであって、これにより前記位置における前記顔データーが、前記別の計算システムにおける 1 つ以上のアプリケーションによる使用のために発見可能となるようにする、ステップと、

を含むコンピューター実装方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載のコンピューター実装方法であって、更に、前記タグを特定するステップを含み、該特定は、対象画像のための顔データーを前記別の計算システムにおける前記顔データーと比較して、前記対象画像の前記顔データーが前記計算システムからの前記顔データーと一致するとき前記タグを特定する、コンピューター実装方法。

【請求項 3】

請求項 2 記載のコンピューター実装方法において、前記特定は、前記別の計算システムにおける訓練なしで実行される、コンピューター実装方法。

【請求項 4】

請求項 1 記載のコンピューター実装方法において、前記訓練画像の前記顔データーは、前記訓練画像に含まれる顔を数学的に表す、コンピューター実装方法。

【請求項 5】

請求項 1 記載のコンピューター実装方法において、前記発見は自動的に起きる、コンピ

ユーザー実装方法。

【請求項 6】

請求項 1 記載のコンピューター実装方法において、前記タグは、更に  
前記顔と関連した人の名前、または、  
前記顔と関連した電子メール・アドレス、  
のうち 1 つ以上を含む、コンピューター実装方法。

【請求項 7】

コンピューター実装方法であって、  
ネットワーク・サービスにおいて顔データを公表するステップであって、該顔データが、ユーザー・アカウントと関連付け、該顔データによって表される顔の顔特性に基づいて、人を特定するために使用可能である、ステップと、  
人を特定するために、前記ユーザー・アカウントに関連付けた前記顔データに対する要求に応答して、前記顔データにアクセスすることを許可されているユーザーを指定する許可表現によって、前記顔データへのアクセスを制御するステップと、  
を含む、コンピューター実装方法。

【請求項 8】

請求項 7 記載のコンピューター実装方法であって、更に、前記顔データを公表したユーザーを特定するために、前記ユーザー・アカウントの識別を前記顔データと関連付けるステップを含む、コンピューター実装方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載のコンピューター実装方法であって、更に、前記ユーザー・アカウントの前記識別を、前記顔によって表される人のユーザー・アカウントの識別と置き換えるステップを含む、方法。

【請求項 10】

請求項 9 記載のコンピューター実装方法において、前記顔によって表される人のユーザー・アカウントにしたがって設定される前記許可表現に基づいて、前記ネットワーク・サービスのユーザーのうち誰に前記顔データへのアクセスを付与するのかが、制御される、コンピューター実装方法。

【請求項 11】

請求項 7 記載のコンピューター実装方法であって、更に、前記顔によって表される人から、前記顔データに対応する補助顔データを受け入れるステップを含む、コンピューター実装方法。

【請求項 12】

請求項 7 記載のコンピューター実装方法であって、更に、前記顔データを前記ユーザー・アカウントと関連付けて格納するステップを含む、コンピューター実装方法。

【請求項 13】

請求項 7 記載のコンピューター実装方法において、前記顔データが、ユーザーの代わりに、クライアント計算システムにおいてアプリケーションによってアクセス可能である、コンピューター実装方法。

【請求項 14】

請求項 1 から 6 のいずれかに記載のコンピューター実装方法をコンピューターに実行させるためのコンピューター実行可能命令を格納した 1 つ以上のコンピューター読み取り可能記憶媒体。

【請求項 15】

請求項 7 から 13 のいずれかに記載のコンピューター実装方法をコンピューターに実行させるためのコンピューター実行可能命令を格納した 1 つ以上のコンピューター読み取り可能記憶媒体。